

第 31 回 永井智さん (立正大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第 31 回目は、永井智さん (立正大学) にご執筆いただきました。

助けを求めるとはということか

私は「援助要請」について研究しています。学部生時代に臨床心理学を学ぶ中で、(考えてみれば当たり前のことなのですが) 支援の窓口がありながらもそれを利用しない人が多くいることを知り、そうした人たちの支えになるためには何が必要かに興味を持ちました。

調べているうちに「援助要請」という概念に出会い、それが今日までの研究テーマとなっています。「援助」と言えば、「援助行動」という非常に奥の深い研究領域が既に存在しますが、この「援助要請」も中々深遠なテーマです。人が他者から援助を引き出すための方略は実に多様であり、関係性や場面、文化によって意味合いや機能も異なります。人間にとって「助けを求める」とはどのような現象なのか、少しずつですが研究を続けています。

永井智 (Satoru NAGAI) さん

【ご所属】立正大学心理学部

【ご連絡先】nagai-st@ris.ac.jp
